

江津地域の今後の県立高校の在り方について
県議会総務委員会でのおもな意見・質疑

R5・6・29

1 意見

- ・ 結論ありきではなく江津市や地域の意見をしっかり聴いて丁寧に検討を進めて欲しい
- ・ 石見地区の工業教育のためには工業系の学びが必要である

2 質疑と県教育委員会の答弁

- (1) 進学を念頭としたコースは、資格職をめざす進学と文系進学を想定しているが、理系進学についてはどう考えるのか

答弁 今までの江津高校の卒業生のおもな進路から、資格職をめざした進学と文系進学の2コースを想定した。理系進学についてはこれから地域の意見を聴きながら考えていく。

- (2) 「県立高校魅力化ビジョン」では浜田・江津地域で検討となっていた。今回の検討は江津地域となっているが、ここまでの検討の背景を確認したい。

答弁 令和3年度から庁内の各課横断の会議を設置し検討をスタートし、

- ・ 県内すべての地域における、中学校卒業生数の推移と高校入学者数の状況および今後の推計などを分析
- ・ 都市部とその他地域に分けて分析
- ・ 高校に対して地域から求められる教育内容を議論
- ・ 県立高校魅力化ビジョンで別枠とされた浜田・江津エリアを特に議論
- ・ 県西部における専門高校（工業教育、商業教育、水産教育）の必要性を議論

これら分析・議論および江津地域の中学校卒業生数の顕著な減少をふまえ、総合的に判断し、江津地域を検討することとした。